

# 第135回 全国大学国語教育学会 東京ウォーターフロント大会 プログラム

1. 日時 2018年 10月27日(土)～28日(日)
2. 会場 武蔵野大学 有明キャンパス (〒135-8181 東京都江東区有明 3-3-3)
3. 後援 東京都教育委員会 江東区教育委員会
4. 日程

- 編集委員会 10月26日(金) 13:00-17:30 東京ベイ有明ワシントンホテル(会議室ユーカリ)
- 常任理事会 10月26日(金) 18:00-21:00 東京ベイ有明ワシントンホテル(会議室ユーカリ)
- (〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-11 りんかい線国際展示場駅 徒歩3分/新交通ゆりかもめ有明駅 徒歩3分)

## <第1日目 10月27日(土)>

8:45 9:30 ~ 12:40 12:50 ~ 13:50 14:00 ~ 15:00 15:10 ~ 17:30 18:00

|    |        |                        |    |        |    |     |
|----|--------|------------------------|----|--------|----|-----|
| 受付 | 自由研究発表 | 昼食<br>理事会<br>院生・若手交流企画 | 総会 | シンポジウム | 移動 | 懇親会 |
|----|--------|------------------------|----|--------|----|-----|

## <第2日目 10月28日(日)>

9:00 9:30 ~ 12:00 12:10 ~ 12:50 13:00 ~ 15:40/16:10

|    |        |                            |                            |
|----|--------|----------------------------|----------------------------|
| 受付 | 課題研究発表 | 昼食<br>研究部門委員会<br>テキスト編集委員会 | 自由研究発表<br>公開講座<br>ラウンドテーブル |
|----|--------|----------------------------|----------------------------|

## 5. プログラム (なお、自由研究発表者のご所属は、エントリー時のご本人の記載によりました。)

### <第1日目>

自由研究発表 1号館 2・3・4階 9:30-12:40 \*3題発表後、10分間休憩

#### ■第一会場 1-206 教室 1号館2階 司会 甲斐雄一郎(筑波大学) 桑原隆(早稲田大学)

- A1 書下ろし教材から見る西尾実の国語教育指導観 -ツエッペリン関連教材を手がかりに-  
藤波利奈(早稲田大学院・院生)
- A2 西尾実監修国語教科書にみるコミュニケーション教育の特質 渡辺通子(東北学院大学)
- A3 植民地朝鮮における文法教育 -『日本口語法及文法教科書』に着目して- 勘米良祐太(浜松学院大学)
- A4 昭和10年代の長野県生活綴方教育に関する考察4 -田中ふさ子の児童詩教育と吉田瑞穂の『綴方行動』誌  
とのかかわり- 西澤真佐雄(長野市立古牧小学校)
- A5 国分一太郎の綴り方教育論 -村山俊太郎「調べた綴方」論との比較-  
佐内信之(東京学芸大こども未来研究所)
- A6 「教育・国語教育」論の射程と深度(2) -国分一太郎のドキュメントと「アジア的人間像の創成」との関連を中心に-  
田中俊弥(大阪教育大学初等教育講座)

#### ■第二会場 1-207 教室 1号館2階 司会 藤森裕治(信州大学) 松山雅子(大阪教育大学)

- B1 「寛容」という視座から構想する国語教育の研究 山田深雪(広島大学大学院・院生)
- B2 その場にいることの抑圧 -「場の当事者」の立場から考える国語教育- 井上寛洋(広島大学大学院・院生)
- B3 「国語教育」という抑圧(2) -被抑圧者の「罪悪感」から考える- 丸田健太郎(広島大学大学院・院生)

B4 英語教材を用いた中等2年「国語」実践 —『The giving tree』の翻訳と『おおきな木』との比較を通じて—

石井明子（東京都立南多摩中等教育学校）

B5 難民と市民の「あいだ」を学ぶ国語教育実践を構想する

横田和子（目白大学）

B6 スペインの全国学力調査

足立幸子（新潟大学）

■第三会場 1-208 教室 1号館2階 司会 河野順子（白百合女子大学） 堀江祐爾（神戸女子大学）

C1 聞くことの学習で何が起きているのか —話し合い学習における児童の姿を手がかりに—

明尾香澄（広島大学・院生）

C2 相手を理解するために聞くことに関する研究 —ボームの想定保留に着目して—

為谷勝太（東京学芸大学大学院・院生）

C3 話し合いにおけるメタ認知的知識の変容過程 —小学校2年生の「わけ」を言うことに注目して—

大村幸子（武蔵野市立桜野小学校）

C4 小学校における「話すこと・聞くこと」指導の研究

小川智勢子（埼玉県三郷市立吹上小学校）

C5 小学校段階での討論の指導についての検討 —〈議論展開能力〉の育成に向けた実践の分析—

北川雅浩（葛飾区立中之台小学校 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科・院生）

C6 国語科と地歴公民科の教員による実業高校での模擬裁判授業の協同実践 —教科をこえた高大連携の法（言語）教育より—

札幌和男（岡山理科大学）

■第四会場 1-306 教室 1号館3階 司会 植山俊宏（京都教育大学） 吉田裕久（安田女子大学）

D1 「ありのまま」に書くことの今日的意義

金田唯人（北海道教育大学大学院・院生）

D2 読書感想文の書き方指導 —論理的表現力指導の一環として—

西山悦子（台東区立東泉小学校）

D3 文章構成に着目した論理的文章の書き方指導 —小学校から大学までの小論文を見通して—

増田泉（新島学園短期大学）

D4 国語科クリティカル・ライティング指導の研究（1） —高等学校「書くこと」の指導の現状と課題—

澤口哲弥（三重県立飯野高等学校）

D5 中・高等学校における論理的表現力を育成する教材開発

長谷川祥子（青山学院大学）

D6 思考ツールを活用した大学生の小論文指導（2） —文章構成力の向上を目的としたピア・ラーニング—

山田貴子（安田女子大学）

■第五会場 1-307 教室 1号館3階 司会 小川雅子（山形大学） 塚田泰彦（関西外国語大学）

E1 「違和感」を活用した意見文の推敲過程に関する研究

小野田磨柚（京都教育大学大学院・院生）

E2 中学校国語科の詩創作活動における自作解説の実践的研究 —学習者の変容に着目して—

横濱嵩之（筑波大学大学院・院生）

佐々木岳（筑波大学大学院・院生）

E3 接続表現「このように」が導く“まとめ”の性質

三好伸芳（筑波大学）

E4 「書き言葉の文体」を意識化させる文法指導

松崎史周（日本女子体育大学）

E5 児童詩創作指導における「比喩の指導」

春日由香（都留文科大学）

E6 学習个体史の研究 —小学校二学年時におけるMの「書くこと」の学習を中心に—

渡辺春美（京都ノートルダム女子大学）

■第六会場 1-308 教室 1号館3階 司会 鶴田清司（都留文科大学） 間瀬茂夫（広島大学）

F1 論理的思考の学習過程に関する研究 —説明的文章の学習における根拠と理由に着目して—

久保村将（東京学芸大学大学院・院生）

- F2 学習者の「感情」に注目した説明的文章の授業の構想 中村暢（隈庄小学校）
- F3 「情報の扱い方に関する事項」を視座とした「読むこと」の授業についての一考察  
井上幸信（新潟市立万代長嶺小学校）
- F4 説明的文章の協同的読解に関する実践的研究  
篠崎祐介（玉川大学）  
青木幹昌（高崎市立倉賀野小学校）
- F5 説明的文章の批判的読みの指導における統合的理解  
古賀洋一（島根県立大学）  
池田匡史（兵庫教育大学）
- F6 反省性を伴った説明的文章の批判的読みの指導と評価に関する研究—中学2年生への実験授業の分析を通して—  
村井隆人（中国学園大学）

■第七会場 1-407 教室 1号館4階 司会 佐野比呂己（北海道教育大学） 寺田守（京都教育大学）

- G1 インクルーシブ教育と国語科教育の接続に関する研究 —読むことの授業における児童の学びの姿を中心に—  
中辻柚里（東京学芸大学大学院・院生）
- G2 物語への「問い」を連続・発展させる学習指導 立石泰之（福岡教育大学大学院 福岡県教育センター）
- G3 読みの交流におけるテキストの間主観性 西田太郎（品川区立台場小学校）
- G4 「鑑賞力」という資質・能力の育成を目指した文学の授業 —ファンタジー教材「ゆうすげ村の小さな旅館」の実践より—  
安達真理子（立教小学校 青山学院大学院・院生）
- G5 中学校文学教材の読みの授業における「解」の生成に関する研究  
中山莉麻（京都教育大学附属桃山中学校）
- G6 国語科授業を取り巻く諸力についての研究 —教育に関するパターンランゲージ群におけるフォース記述の分析を通して—  
富安慎吾（島根大学）

■第八会場 1-408 教室 1号館4階 司会 中村敦雄（明治学院大学） 町田守弘（早稲田大学）

- H1 社会・文化表象としてマンガを教室で読むことの可能性 —岡崎京子「リバーズ・エッジ」教材化に向けて—  
古屋葉月（東京学芸大学大学院・院生）
- H2 文学的文章を解釈する要因に関する研究 —小学校から中学校への環境移行事態を通して—  
濱孝寛（東京学芸大学大学院・院生）
- H3 〈読み〉の動作化が観察者にもたらす効果 —「ミラーニューロン」に関する研究の知見から—  
本多礼諭（福島大学大学院・院生）
- H4 小学校4年における「語り」概念の獲得と読み 岩崎直哉（新潟市立大形小学校）
- H5 「見る」を含む学習の系統性(3) —君は最後の晩餐を知っているか— 坂東智子（山口大学）
- H6 物語を読むときの脳活動 —イメージしにくい説明的な文章を読むときの脳活動とのちがいをを通して—  
小久保美子（新潟大学）

【理事会 1-13B 会議室 1号館13階 12:50-13:50】

【院生・若手交流企画 学生ホール 3号館1階 12:50-13:50】

【総会 3-301・302 大教室 3号館3階 14:00-15:00】

シンポジウム 3-301/302 大教室 3号館3階 15:10-17:30

「文学国語」という考えかた ―新学習指導要領下における国語科教育の再編成―

パネリスト：幸田国広（早稲田大学）  
山元隆春（広島大学）  
和田敦彦（早稲田大学）

コメンテーター：三田誠広（小説家、武蔵野大学） コーディネーター：宮川健郎（武蔵野大学）

【懇親会 18:00-20:00 武蔵野大学 有明キャンパス 3号館1階 大学食堂】

## <第2日目>

課題研究発表 3-301/302 大教室 3号館3階 9:30-12:00

課題研究発表「国語科教育を問いなおす② 言葉(ことば)」

話題提供者：千田洋幸（東京学芸大学）  
奥泉香（日本体育大学）  
藤田彬（横浜国立大学）

コーディネーター：藤森裕治（信州大学）  
石田喜美（横浜国立大学）

【研究部門委員会 1-8A 会議室 1号館 8階 12:10-12:50】

【テキスト編集委員会 1-8B 会議室 1号館 8階 12:10-12:50】

自由研究発表 1号館 2・3階 13:00-15:40/16:10

■第一会場 1-206教室 1号館2階 司会 児玉忠（宮城教育大学） 府川源一郎（日本体育大学）

- 11 西郷文芸学の到達点としての「相変移」論の成立 高橋茉由（広島大学大学院・院生）  
12 言語技術の熟達者、野口芳宏の指導理論1 ―「教授・学習の記号段階」を援用した実践の理論化―  
柳谷直明（上砂川町立中央小学校）  
13 戦後児童詩教育の研究⑤ ―雑誌「きりん」初期における比喩表現― 今宮信吾（桃山学院教育大学）  
14 新保磐次『中學國文讀本』（明治二八）における「普通文」 信木伸一（尾道市立大学）  
15 戦前期中等学校国語科教科書における古典教材の採録状況に関する研究 小笠原拓（鳥取大学）

■第二会場 1-207教室 1号館2階 司会 細川太輔（東京学芸大学） 三浦和尚（愛媛大学）

- J1 教師としての自覚を生み出す教養教育の在り方 ―「教育話法」も一つの手がかりにして―  
藤田徳尊（広島大学大学院・院生）  
J2 教師教育における古典教育の系統性に関する研究 ―古典世界の具体化、アクティブ・ラーニングをキーワードに―  
針尾有章子（京都府総合教育センター 京都教育大学院・院生）  
J3 「資質・能力」の育成をめざす「場」 ―小学校への国語科乗り入れ授業の効果―  
下田実（静岡大学(共同)大学院・院生）  
J4 発問コードによる学習指導案の作成指導 ―主体的・対話的で深い学びを実践できる教員の養成を目指して―  
富谷利光（秀明大学）  
J5 国語科授業実践における目標設定の現状と課題 ―〈価値目標〉の視点から― 竜田徹（佐賀大学）

■第三会場 1-208教室 1号館2階 司会 島田康行（筑波大学） 田中宏幸（安田女子大学）

K1 大村はま作文教育の研究 -「作文の基礎力を養うための学習」一覧表の考察-

片岡実（広島大学大学院 院生）

K2 言語技術教育からみた大村はまの「てびき」の意義と課題 -「書くこと」の指導の場合-

大内善一（元茨城大学）

K3 成城小学校の聴方教授 -目的・方法・指導の実際-

東和男（元福岡教育大学）

K4 言語感覚の数値的可視化に関する試み -添削指導実験の結果分析に基づいて-

矢部玲子（北海道文教大学）

K5 作文語彙と学習成績との関連性 -接続表現を中心に-

鈴木一史（茨城大学）

■第四会場 1-306教室 1号館3階 司会 足立幸子（新潟大学） 住田勝（大阪教育大学）

L1 第三項という方略 -小説『舞姫』の読みを通して-

渡邊皆仁（広島大学大学院・院生）

L2 <<実在>の文学教育>のための予備的考察 -『羅生門』の実践を通して- 河上裕太（広島大学院・院生）

L3 草稿「権狐」と「ごんぎつね」の比べ読みによる読みの発達

小川高広（新潟県上越市立高志小学校）

L4 <揺らぎ>を生かした国語科授業研究(その2) -宮澤賢治「やまなし」の実践を通して-

井上陽童（東京都立川市立新生小学校）

L5 中学校国語科教材のジェンダーを読み解く指導 -「字のない葉書」の構成に着目して-

木村季美子（奈良県立添上高等学校）

L6 『蜜柑』(芥川龍之介)の企て -アクティブ・ラーニングと言語活動へつなぐ教材研究- 堀田悟史（龍谷大学）

■第五会場 1-307教室 1号館3階 司会 高木まさき（横浜国立大学） 吉川芳則（兵庫教育大学）

M1 大村はま読書生活指導の構造 -C.クルト-ISPモデルとの比較を軸に-

谷木由利（兵庫教育大学連合大学院・院生）

M2 幼小連携を視野に入れた読書指導の方向性 -伝承物語の読み聞かせから物語への道筋-

篠原京子（常葉大学）

M3 小学校低学年児童周辺の語彙調査 -児童図書と教科書の比較を中心に-

河内昭浩（群馬大学） 富澤紘美（群馬大学大学院・院生）

M4 リーディング・ワークショップにおける「ことば」の獲得

岡田博元（お茶の水女子大学附属小学校）

M5 中学生はどのように一冊の本を語り合ったか -中学校国語科における読書会の授業の開発-

渡邊光輝（お茶の水女子大学附属中学校）

M6 読書に親しむ生徒の育成を目指す指導 -近代文学を主眼とした3年間の実践を通して-

江原瑞貴（さいたま市立土呂中学校）

公開講座 1-406教室 1号館 4階 13:00-16:10

国際バカロレアにおける「言語と文学」「文学」の授業から国語科のあり方を考え直す -教科横断的キー概念(key concepts)・能力にもとづく学習指導を手がかりに- DP(Diploma Programme=高2・3)における「言語A」を中心に

話題提供者：半田淳子（国際基督教大学）

内藤満地子（元アメリカンスクール・イン・ジャパン）

高松美紀（東京都立国際高等学校）

杉本紀子（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

コーディネーター：中村敦雄（明治学院大学）

R1 多文化共生社会を基底とするカリキュラム構築 -アイヌ文化を国語科に- (第九会場 1-204教室 1号館2階)

コーディネーター：佐野比呂己（北海道教育大学） 登壇者：菅原利晃（北海道教育大学）  
雲岡梓（北海道教育大学）  
戸川貴之（帯広北高等学校）  
谷口守（北海道札幌啓成高等学校）  
菅野菜月（北海道浦河高等学校）

R2 国語教育における即興的パフォーマンスとしての学習 -「うまくいかない」「できちゃった」経験から生まれることばの学び

(第十会場 1-205教室 1号館2階)

コーディネーター：石田喜美（横浜国立大学） 登壇者：坂本喜代子（帝京大学）  
神永裕昭（足立区立扇小学校）  
堤真人（横浜市立永田台小学校）

R3 ことばの教育を考える(2) -AI社会、標準語、漢文教育、読書等を手がかりとして-

(第十一会場 1-301教室 1号館3階)

コーディネーター：稲井達也（日本女子体育大学） 登壇者：有働玲子（聖徳大学）  
吉田和夫（玉川大学）  
畑綾乃（筑波大学附属高等学校）  
小沢貴雄（文化庁）

R4 教育ICTの導入と国語科教育 -先生の都合と生徒の未来-

(第十二会場 1-302教室 1号館3階)

コーディネーター：野中潤（都留文科大学） 登壇者：植田恭子（都留文科大学）  
渡邊光輝（お茶の水女子大学附属中学校）

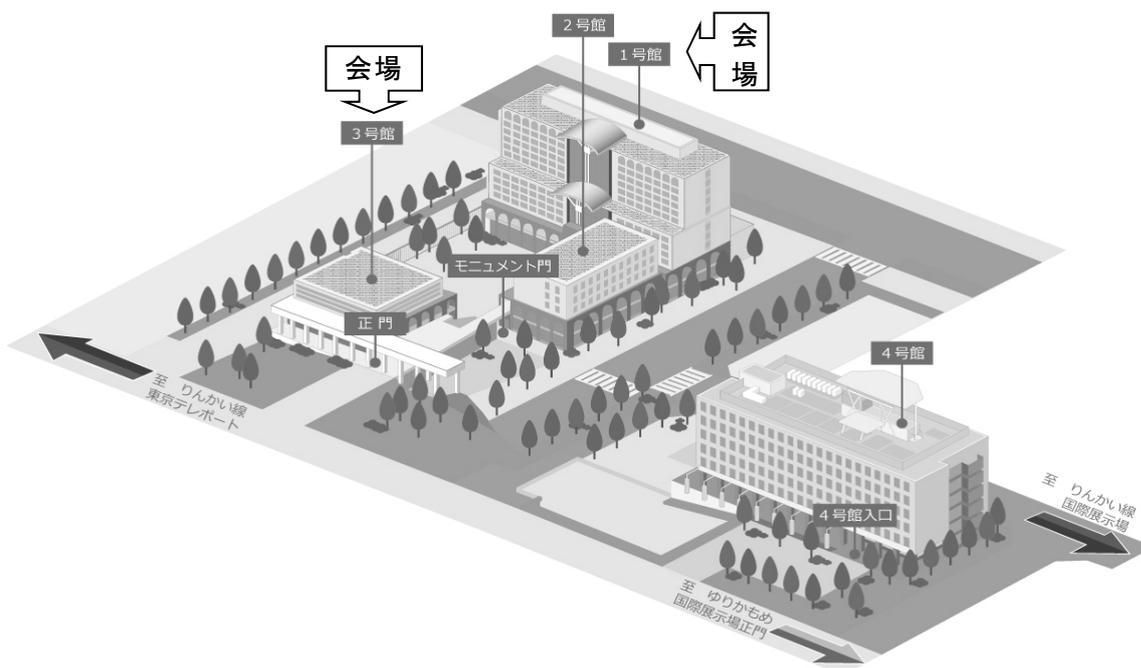
R5 第三項理論から国語教育を問い直して -「新しい实在論」から教育の変革を展望する-

(第十三会場 1-304教室 1号館3階)

コーディネーター：難波博孝（広島大学） 登壇者：須貝千里（山梨大学名誉教授）  
田中実（都留文科大学名誉教授）

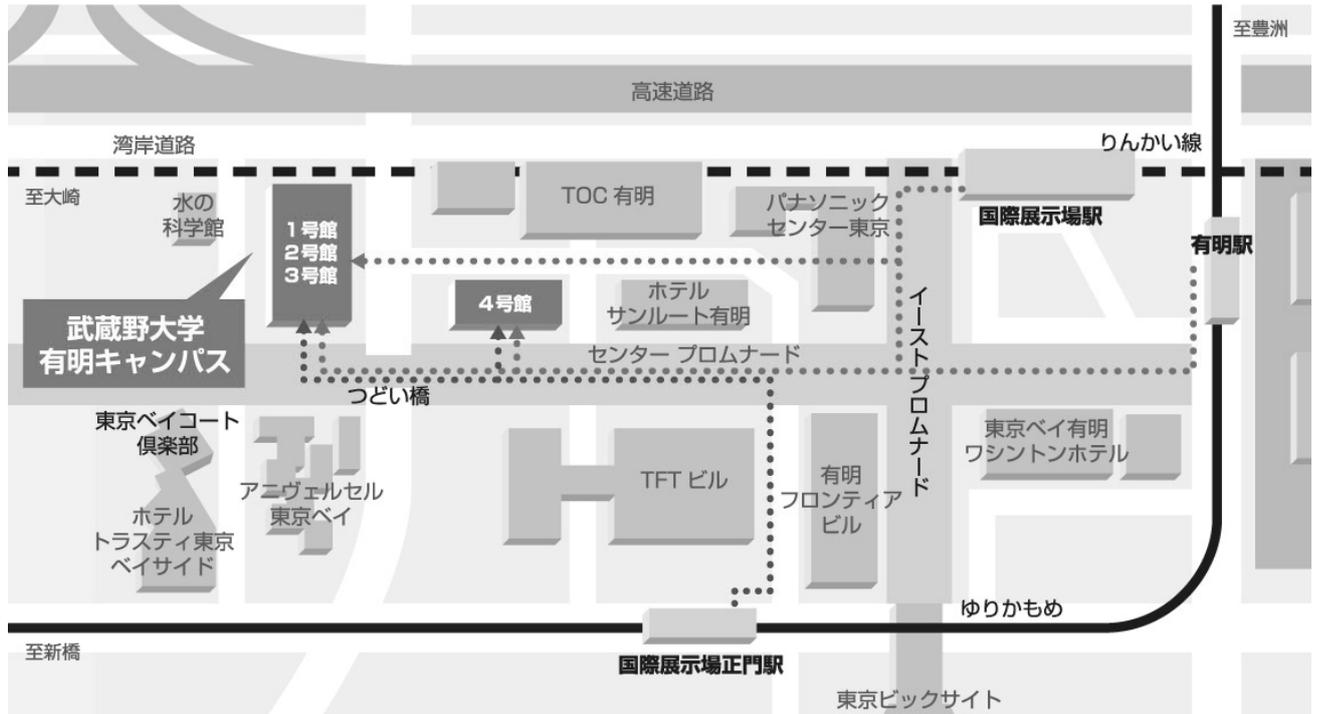
## 6. 大学キャンパスマップ

自由研究発表など学会関係の行事はすべて1号館・3号館を使って行ないます。また1日目・2日目とも、受付は1号館 2階のエントランスで行なう予定です。



## 7. 会場までの、最寄り駅からのアクセス

「国際展示場駅」から大学までは、駅改札を出て右手に見える建物「パナソニックセンター東京」を通り抜けてそのまま直進していただき、上掲6. 「モニュメント門」からお入りいただくのが一番便利です。



## 8. 都内最寄り駅までのアクセス

○電車：りんかい線 「国際展示場」駅より徒歩7分

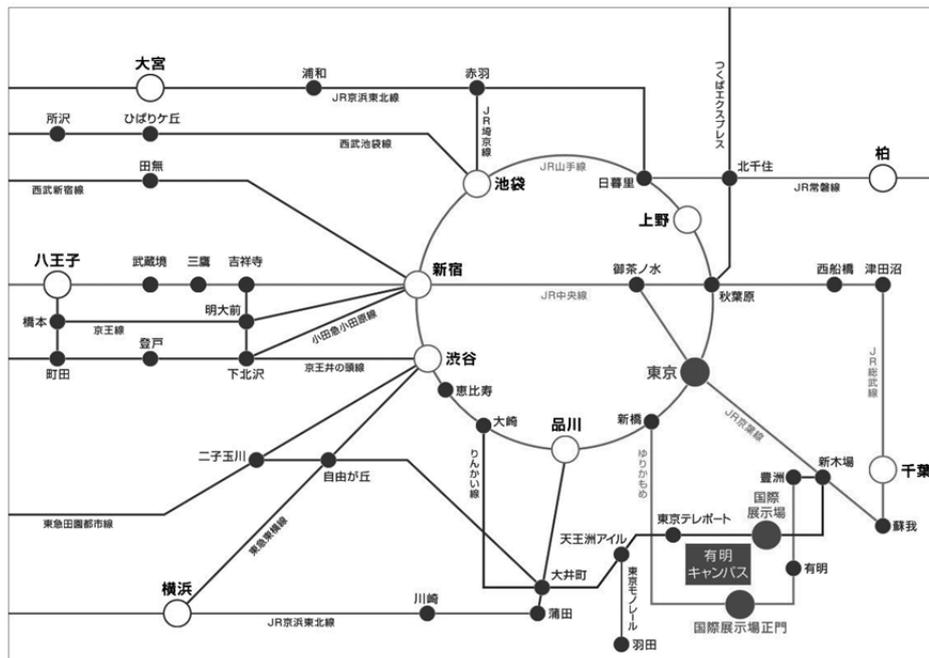
ゆりかもめ 「国際展示場正門」駅より徒歩6分

○バス：東京駅（丸の内南口）から、5番乗場より

都営バス（都05系統「東京ビッグサイト」行き）で約30分「武蔵野大学前」下車すぐ

東京駅（八重洲南口）から、10番乗場より

都営バス（東16系統「東京ビッグサイト」行き）で約30分「武蔵野大学前」下車すぐ



## 9. 昼食、懇親会案内

### 【昼食】

- お弁当は用意しません。各自持ち込むか、会場近くの飲食店・コンビニ等を御利用ください。
- 昼食は、自由研究発表の会場教室をどこでも結構ですのでお使いください。
- 大学食堂は営業していません。3号館2階に「ロハスカフェ」があり、27日・28日ともに以下の時間帯に営業予定です。混み合う可能性もありますので、お含みおき下さい。  
土曜日(11時から21時)、日曜日(11時から19時)

### 【懇親会】

- 懇親会は、3号館1階 大学食堂で、10月27日(土)18時より開催します。

## 10. 発表等について

- 自由研究発表、ラウンドテーブル、公開講座については、配布資料は、A4サイズで150部ご持参下さい。大会事務局では、印刷の対応はできかねますのでご了承下さい。
- 課題研究発表については、配布資料がありましたら、450部ご持参下さい。  
発表資料は、発表者が会場までご持参ください。会場にて担当スタッフまでお渡しいただければ設置いたします。
- 公開講座、ラウンドテーブルの資料も、発表者が会場までご持参ください。会場にて担当スタッフが、配布等のお手伝いをいたします。
- 発表資料を、事前に大会事務局でお預かりすることは出来かねます。ご了承下さい。  
発表資料の残部については、発表者が各自お持ち帰り下さい。
- 分科会に参加せず発表資料のみを取る場合は、発表終了後にお願いいたします。
- 発表にプレゼンソフトを利用する場合、発表者がパソコンをご準備ください。接続はVGA(D-sub15ピン)ケーブルのみです。HDMI端子やMacとの接続が必要な場合は、アダプターをご準備下さい。  
なお、準備時間も発表時間に含まれます。